

リン資源リサイクル推進協議会 設立記念講演会 開催のお知らせ

わが国は、国内で消費するリンの全量を海外からの輸入に頼っていますが、リン鉱石の価格高騰と産出国による資源の困り込みもあって、リン鉱石の入手が年々難しくなっています。このため、わが国は国内で使用したリンの回収・再利用や、未利用リン資源の利用技術を開発する必要に迫られています。リン資源のリサイクルには広範な産業・社会分野が関係しており、産学官の協力のもと関係者が一体となって、戦略的かつ総合的に取り組むことが強く求められています。

この度、産学官の関連事業者等が集まり、オールジャパンのレベルでリン資源リサイクルの推進について、戦略的かつ総合的に協議する場として、リン資源リサイクル推進協議会を設立することになりました。ぜひ設立の趣旨をご理解頂き、本協議会にご参加下さいますようお願い申し上げます。

また、協議会の設立を記念して、下記にて講演会を開催致しますので、よろしくご参集のほど合わせてお願い申し上げます。講演者及びご参加いただいた方々による意見交換を実施させていただきます。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

1. 開催日時：平成20年12月18日(木) 13:00～15:20
2. 開催場所：学士会館2階 210会議室(東京都千代田区神田錦町3-28)
3. 参加費：会 員 無 料
非会員 3,000円(非会員の方の参加費は、当日会場にて頂戴いたします。)
4. 内 容：
 - 1) 開会挨拶 リン資源リサイクル推進協議会 発起人代表 大阪大学 大竹 久夫 氏(13:00～13:05)
 - 2) 来賓挨拶 (13:05～13:25)
農林水産省、国土交通省、経済産業省、環境省
 - 3) 講演 「リン資源リサイクルをめぐる課題と推進協議会の役割」(13:30～14:00)
大阪大学 大学院 工学研究科 生命先端工学専攻 教授 大竹 久夫 氏
「わが国の元素フローと製鋼スラグからのリン回収」(14:00～14:30)
東北大学 大学院 環境科学研究科 教授 長坂 徹也 氏
 - 4) パネルディスカッション「リン資源リサイクル実現のために何をなすべきか」(14:30～15:20)
パネラー 春日 健二 氏(農林水産省 生産局 生産流通振興課 特産農産物対策室長)
(五十音順) 後藤 幸造 氏(岐阜市 水道事業及び下水道事業管理者 上下水道事業部長)
長坂 徹也 氏(東北大学 大学院 環境科学研究科 教授)
成田 義貞 氏(日本肥料アンモニア協会 事務局長)
松永 剛一 氏(下関三井化学(株) 事業部 課長)
柳瀬 哲也 氏(メタウォーター(株))
コーディネーター 大竹 久夫 氏(大阪大学 大学院 工学研究科 生命先端工学専攻 教授)
 - 5) 閉会 (15:20) 閉会后、同会場にて総会を開催いたしますので、一般の方はご退出願います。
5. 申込み：

次頁(裏面)の参加申込用紙に所定事項をご記入の上、平成20年12月17日(水)までにリン資源リサイクル推進協議会 事務局(社団法人 日本有機資源協会 内)あてにファックスあるいはE-mailにてお送り下さい。非会員の方の参加費は、当日会場にて頂戴いたします。

リン資源リサイクル推進協議会 事務局 あて

(社団法人日本有機資源協会 内)

FAX : 03-3297-5619

E-mail : prpc@jora.jp

電話 : 03-3297-5618

リン資源リサイクル推進協議会 設立記念講演会 参加申込用紙

開催日時 : 平成20年12月18日(木) 13:00 ~ 15:20

開催場所 : 学士会館2階 210会議室

平成20年12月18日(木)開催「リン資源リサイクル推進協議会 設立記念講演会」に出席します。

個人会員 団体会員 非会員 (いずれかを で囲んでください)

企業・団体名 : _____

参加者1

所属及び役職 :

氏名 : _____

参加者2

所属及び役職 :

氏名 : _____

参加者3

所属及び役職 :

氏名 : _____

連絡先

住 所 : _____

T E L : _____

F A X : _____

E-mail : _____

ご記入いただいた個人情報は、本講演会の受付事務にのみ使用させていただきます。